

『盛土等防災マニュアルの解説』

正誤表

< I 巻 >

P122 下から 1 行目

正	誤
共用期間 <u>中</u> に	共用期 <u>間</u> 中に

P144 上から 12 行目

正	誤
積極的 <u>に</u> 排水工を設け、	積極的 <u>な</u> 排水工を設け、

P153 上から 2 行目

正	誤
参考 5.5 地下水排除工の処理水量 『平成元年版 土地改良事業標準設計 第 10 編 農地造成（解説書）』（土地改良技術 情報センター、平成元年）	参考 5.5 地下水排除工の処理水量

P249 下から 11 行目

正	誤
山地・丘陵地の開発 <u>事業</u> 等実施地区	山地・丘陵地の開発 <u>次行</u> 等実施地区

P311 下から 13 行目

正	誤
総合的に判断して安定性 <u>を</u> 検討する	総合的に判断して安定性 <u>の</u> 検討する

P417 下から 13 行目

正	誤
1 mm ² につき <u>1.5N</u> 以上	1 mm ² につき <u>15N</u> 以上

P436 上から 2 行目

正	誤
なお、<u>都市計画法に基づく開発許可のうち盛土規制法の対象とならない開発行為に係るものにおいては、擁壁の鋼材及びコンクリートの許容応力度の規定はないが、一般に盛土規制法の考え方に準拠してよい。</u>	なお、<u>都市計画法に基づく開発許可においては、擁壁の鋼材及びコンクリートの許容応力度の規定はないが、一般に盛土規制法の考え方に準拠してよい。</u>

P436 上から 12 行目

正	誤
なお、この場合でも、<u>都市計画法に基づく開発許可のうち盛土規制法の対象とならない開発行為に係るものについては、地盤の許容応力度（又は許容支持力度）は、地盤調査結果に基づいて産出するのが原則となる。</u>	なお、この場合でも、<u>都市計画法の開発許可に当たって、地盤の許容応力度（又は許容支持力度）は、地盤調査結果に基づいて算出するのが原則とする。</u>

P437 式Ⅷ・3-2

正	誤
長期 $q_a = \frac{1}{3}(i_c \cdot a \cdot c \cdot N_c + i_\gamma \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot N_\gamma + i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q)$	長期 $q_a = \frac{1}{3(i_c \cdot a \cdot c \cdot N_c + i_\gamma \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot N_\gamma + i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q)}$

P437 式Ⅷ・3-3

正	誤
短期 $q_a = \frac{2}{3}(i_c \cdot a \cdot c \cdot N_c + i_\gamma \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot N_\gamma + i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q)$	短期 $q_a = \frac{2}{3(i_c \cdot a \cdot c \cdot N_c + i_\gamma \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot N_\gamma + i_q \cdot \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q)}$

P439 式Ⅷ・3-4

正	誤
$q_a = q_t + \frac{1}{3} \cdot N' \cdot \gamma_2 \cdot D_f$	$q_a = q_t + \frac{1}{3 \cdot N' \cdot \gamma_2 \cdot D_f}$

P439 式Ⅷ・3-5

正	誤
$q_a = 2 \cdot q_t + \frac{1}{3} \cdot N' \cdot \gamma_2 \cdot D_f$	$q_a = 2 \cdot q_t + \frac{1}{3 \cdot N' \cdot \gamma_2 \cdot D_f}$

P442 下から 12 行目

正	誤
鉄筋の <u>かぶり厚さ</u> の緩和規定	鉄筋 <u>までかぶり</u> の緩和規定

P467 上から 12 行目

正	誤
政令第 <u>12</u> 条及び都市計画法	政令第 <u>10</u> 条及び都市計画法

P468 上から 1 行目

正	誤
なお、政令第 <u>12</u> 条、都市計画法	なお、政令第 <u>10</u> 条、都市計画法

< II 巻 >

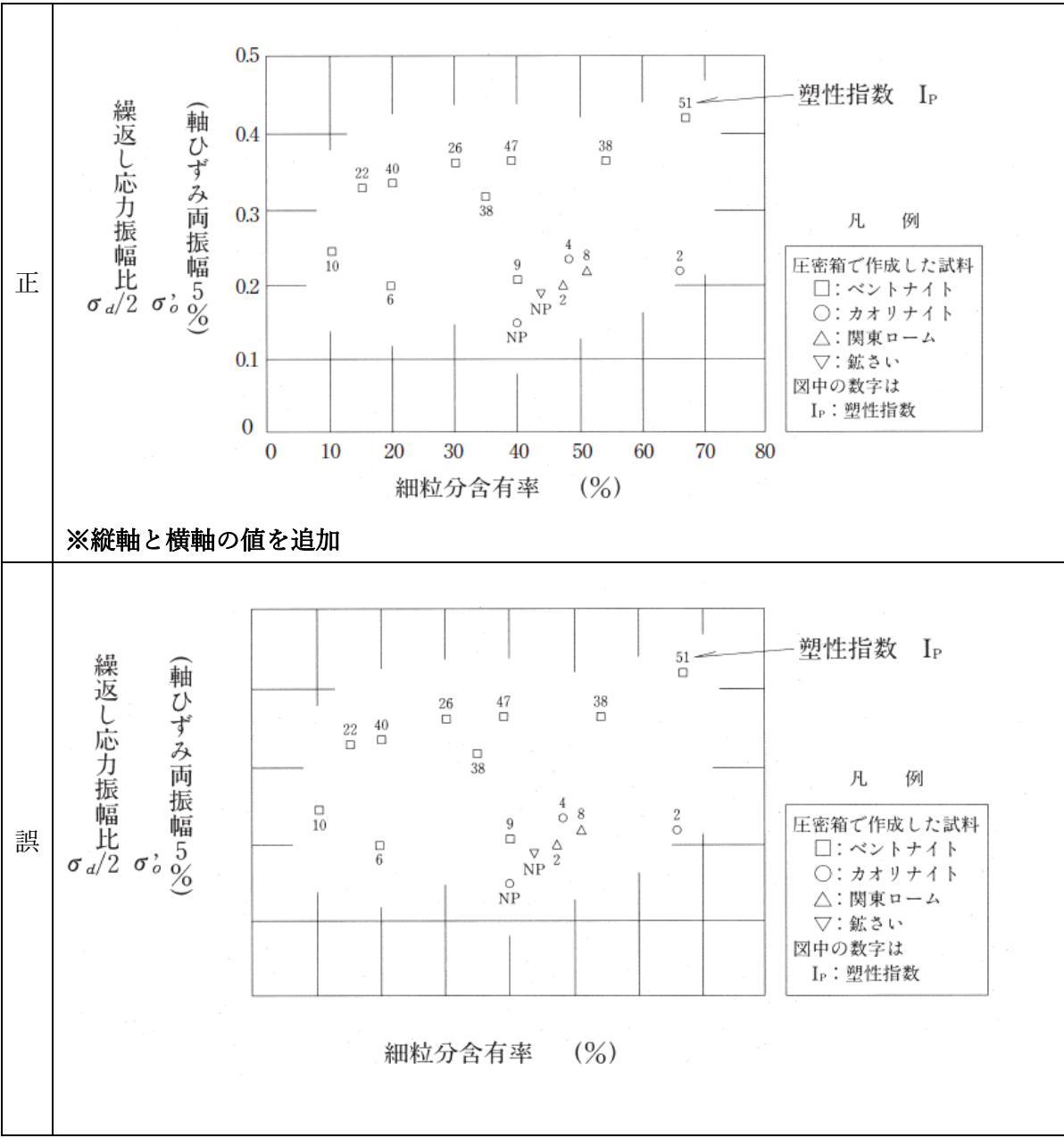
P68 上から 12 行目

正	誤
斜め側方に <u>押し上げるため、</u>	斜め側方に <u>押し上げて、破壊的な滑りを起こす可能性が生じるため</u>

P74 上から 3 行目

正	誤
<u>軟弱地盤のせん断強さよりも盛土自体のせん断強さの方が安全率に影響する場合があります。</u>	<u>安全率に与える影響は、軟弱地盤のせん断強さよりも盛土自体のせん断強さの方が大きくなる場合が起こる。</u>

P195 図 X・11-3 細粒分含有率と繰返し応力振幅比の関係



P206 下から 18 行目

正	誤
開発事業等においては、 <u>地盤の液状化現象に起因する災害や建築物・構造物等に対する被害・悪影響等への適切かつ合理的な防止・軽減対策に役立てるため、</u>	開発事業等においては、 <u>地盤の液状化現象に起因する災害や建築物・構造物等に対する被害・悪影響等を適切かつ合理的に防止・軽減するための対策に役立てるため、</u>

P241 下から 10 行目

正	誤
土壌の <u>緊縛</u> 効果や、	土壌の <u>緊迫</u> 効果や、

P294 上から 9 行目

正	誤
<u>ℓ</u> : 斜面距離 (m)	<u>r</u> : 斜面距離 (m)